

施策評価シート (平成27年度の振り返り、総括)

作成日 平成28年 04月 04日

施策 No.	34	施策名	観光の振興
主管課名	商工観光課	電話番号	0285-83-8135
関係課名	農政課、企画課		

施策の対象	市内を訪れる観光客 (首都圏住民が中心的なターゲット層)								
対象指標名	単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	31年度見込
観光客数	人	2,785,291	2,806,703	2,230,492	2,463,570	2,845,313	2,865,281	2,865,612	3,000,000
関東 1都6県の人口	人	42,240,000	42,594,981	42,589,054	42,603,000	42,625,150	42,797,000	42,992,000	-

施策の意図	本市の魅力を高め、市外から多くの人々に訪れてもらい、活力あるまちづくりを進める。								
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法 (算定式など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>入込客数は、県調査の観光客入込客数 (平成27年1月～平成27年12月)</li> <li>その他は、商工観光課で調査したデータ。</li> <li>一人当たりの消費高の算出は、井頭温泉・チャットパレス・ゴルフ場・物産会館・道の駅</li> <li>あく里っ娘の売上高を実人員で割出して算出。</li> </ul> 平成27年度実績 (1,439,512,180円 ÷ 844,956人 1,704円)								
成果指標名	単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	31年度基本計画目標値
観光客入り込み客数	人	2,785,291	2,806,703	2,230,492	2,463,570	2,845,313	2,865,281	2,865,612	3,000,000
客一人当たりの消費高	円	1,625	1,610	1,699	1,678	1,687	1,695	1,704	1,800

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	ア 市民 ・市民一人一人が真岡市の問題を自分の問題として考え、担い手として観光まちづくりの活動を推進する。 イ 行政 ・観光まちづくりの担い手である市民の育成と、その活動を支援する。 ・観光協会と連携し、観光の振興に努める。
-------------------------	--

1. 施策の成果水準とその背景（近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること）

（1）施策成果の時系列比較（過去3年間の比較）

・観光客入込み数は、平成25年は2,845,313人、平成26年は2,865,281人、平成27年は2,865,612人で前年対比100.0%とほぼ同数であった。

平成26年10月にオープンした久保記念観光文化交流館を拠点施設として、観光客誘客による交流人口の増加に努めた。

井頭公園 603,638人（前年比較 134,817人減）

一万人プール 150,378人（前年比較 16,259人増）

SLキューロク館 130,866人（前年比較 4,678人増）

桜まつり 50,000人（前年比較 10,000人増）

夏祭り花火大会 250,000人（前年比較 20,000人増）

・北関東自動車道真岡ICの1日平均交通量は、平成25年度:6,749台、平成26年度6,727台平成27年度6,904台となっている。

（2）近隣他市との比較

・近隣他市町も同様に、平成23年の東日本大震災以降は入込み客数は増加傾向にあり、平成27年の入込み客数についても増加している。

宇都宮市14,700,500人（前年比103.7% 530,600人増）

小山市 3,244,582人（前年比100.3% 10,435人増）

益子町 1,963,956人（前年比105.7% 106,443人増）

真岡市 2,865,612人（前年比100.0% 331人増）

（3）住民期待水準との比較

・市民意向調査の「今後のまちづくりに力を入れて欲しい施策」の質問に対し、観光の振興を選んだ割合が、平成25年度13.2%、平成26年度12.8%、平成27年度13.2%であり、観光まちづくりによる活性化への期待度は同水準で推移している。

27年度の  
評価結果

## 2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の総括

・観光協会のホームページやカレンダー作成等により、季節にあわせたイベントや祭事などの情報を発信した。

・市内5か所に設置してある観光PR案内板については、真岡の名所・イベントなど、季節に合わせてシートを張替えながら観光PRを行っている。また、そのうちの1か所である木綿会館駐車場の案内板には、新たに「もおか門前マップ」のシートを制作掲示し、周辺案内板として併用活用している。

・「SLの走るまち、もおか」の更なるイメージアップと誘客を図るため、無償譲渡により静岡市からD51-146号をSLキューロク館に移設し、記念式典を実施した。

・「いちご生産量日本一」である本市のイメージアップを図るため、いちごをモチーフにしたPR看板を、新たに市内の東西南北の主要道路に設置した（企画課、農政課）

・東京スカイツリータウン内にある「とちまるショップ」や東京都武蔵野市吉祥寺の商業施設の屋外イベントスペースを利用して観光PRを実施した。また、市内各施設、イベント等でのパンフレット配布や県観光協会東京事務所にパンフレットを置くとともに、山形県米沢市や新潟県十日町市のイベントに参加して本市観光のPR活動を実施した。

・本市への誘客を促進するため、とちぎテレビ・FM栃木・下野新聞、福島テレビなどのマスメディアを活用し、本市の観光資源等を市内外に向けてPRした。

・県の「本物の出会い栃木」観光キャンペーンや芳賀地区観光推進協議会と連携し、広域的な観光のPRを実施するとともに、JR東日本のDCキャンペーンの誘致活動を行った。

・「真岡の五大夏まつり」（久下田祇園祭・真岡の夏まつり・もおか木綿踊り・灯ろう流し・尊徳夏まつり）をはじめとする観光イベントを支援し、観光誘客による交流人口の増加に努めた。

・「桜まつり」や「もおか木綿ふれあい祭り」に、JR東日本が実施している「駅からハイキング事業」をタイアップさせて市外から誘客を図った〔桜まつり：388人、もおか木綿ふれあい祭り：209人〕

・「真岡の一万本桜まつり」をはじめとしたイベントの開催にあわせて、年4回市内観光施設を巡る周遊バスを運行した。（781人利用）

・第7回の「真岡浪漫ひな祭り」を久保講堂で実施した。（17,000人来場）

・「いい芳賀いちご夢街道」推進協議会に加盟し、いちごをテーマとした地域ブランドの確立に向け広域連携を図るとともに、「いちごまつり」や「いちご狩り」などの体験型観光への誘客活動を実施して、「いちご日本一のまち」を市内外にPRした。

・門前地区の空き店舗対策を支援（現在14店舗出店）するとともに、天の織姫市の開催などにより、旧市街地における回遊性の向上や賑わいの創出を図った。

・真岡市観光ネットワーク事業に伴う、市民と協働による観光まちづくり事業を実践に移した。（観光コンシェルジュ21名認定、モオカの休日参加団体14団体、フィルムコミッションの運営、リビングマーケットの実施）

・観光協会事務所を配置した「久保記念観光文化交流館」を観光情報の発信拠点とし、「真岡木綿を着たまち歩き」などの新たな観光事業に取り組むとともに、観光客誘客による交流人口の増加を図った。

また、スマートフォンなどに対応したWi-Fi基地局を設置しインターネットも活用できる環境を整えた。

・市制施行60周年の真岡市を記録したPR映像（30分）や、真岡の四季に応じたPR映像3分間を真岡市のホームページにYouTubeとしてアップするほか、新たに作成した観光パンフレットにもQRコードで掲載し、本市PRにつとめた。

・市内の回遊性向上のために、「まちあるきマップ」や「里山あるきマップ」を増刷した。

27年度の  
評価結果

### 3. 施策の課題認識と改革改善の方向

- ・観光入れ込み客数を増加させるには、市内の観光拠点の回遊性を向上させ観光客の満足度の向上を図り、リピーター化を促進することが課題である。引き続き、観光拠点のPRとおもてなしの心で観光客を迎え入れ、商店会と連携を図り観光のまちづくりを推進する。
- ・久保記念観光文化交流館、真岡木綿会館、井頭温泉、SLキューロク館、あぐりっ娘、道の駅にのみや、尊徳資料館等の観光施設と、イベント情報や季節の祭事等の観光情報を、観光協会ホームページやマスメディアを活用し、市内外に向け本市の魅力を積極的に情報発信する。
- ・新たに観光PR用パンフレットを作成し、観光PRのさらなる推進を図る。
- ・おもてなしの心で、観光客のリピーター化を促進するため、市民団体の活動を支援するとともに、市民活動により観光資源や文化施設等のPRと利活用を図る。（観光コンシェルジュ、モオカの休日等）
- ・県や芳賀地区観光推進協議会と連携して、広域観光のPRを図るとともに、JR東日本が実施するDCキャンペーンの誘致に向け広域的な取り組みを実施する。また、外国人観光客に対する誘客の調査・研究を行う。
- ・空き店舗対策や環境整備により、門前地区をはじめとした商店街の賑わいを創出し中心市街地活性化の拡充を図る。
- ・D51や9600型SLを核とするSLキューロク館等への誘客を図るとともに、街歩きのルートをPRし中心市街地の回遊性と賑わいを創出する。
- ・「久保記念観光文化交流館」を観光情報の発信拠点とし、周辺の観光資源との連携を強化し誘客に対する相乗効果を図るとともに、商店会等と連携し物産会館の充実に努める。
- ・「食のガイドマップ」を活用し、食（市内での食事）による地域活性化を促進する。
- ・真岡の特産品や新商品の開発支援・PRを推進するとともに、「とちまるショップ（栃木県アンテナショップ）」をはじめとする、県内外の物販ブース等において真岡の観光PRを実施する。
- ・農業体験（いちご狩り）・機織り体験・SL乗車・モオカの休日などの体験型観光の推進により、観光客のリピーター化を促進する。
- ・市民と協働の観光まちづくりを推進するため、観光協会の組織体制の充実を図るとともに、観光コンシェルジュ等の市民活動を支援するコーディネーターの育成を図る。（観光協会職員）
- ・真岡市PR映像を活用し観光のPRを推進する。情報媒体の活用（ユーチューブ、デジタルサイネージ、市のホームページ、もおかテレビ等）
- ・木綿会周辺整備により、茶店を新たに建設し、来客増と回遊性の向上を図る。
- ・観光来場者数の多い施設に「まちあるきマップ」や「里山あるきマップ」を配備し、レンタサイクルなどを活用したまちの回遊性の向上を図る。さらに、車で来る観光客への対応として、スマートフォンを通じて「まちあるき」や「里山あるき」ができるマップ情報を提供し、回遊性の向上を図る。
- ・移住、定住の促進を図るため、シティープロモーションを推進し、積極的に本市の魅力を発信することによって、知名度の向上と交流人口の増加を図るとともに、市民ふるさと愛の醸成に取り組む（企画課）。

27年度の  
評価結果

補足事項

真岡市イベント一覧

・SLキューロク館イベント	随時	・ベリテンライブ	9月上旬
・久保交流館イベント	随時	・中村八幡宮流鏝馬	9月中旬
・お宝骨董市	毎月第2日曜	・井頭温泉まつり	9月下旬
・天の織姫市（びわ市）	4, 8, 10, 12月第2日曜	・井頭マラソン	10月中旬
・初市（だるま市）	1月中旬	・もおか木綿ふれあい祭り	10月第2日曜日
・真岡・浪漫ひな祭り	2月上旬～3月上旬	・駅からハイキング	10月第2日曜日
・真岡一万本桜まつり	3月中旬～4月下旬	・もおか人、夢、未来フェスタ	11月上旬
・大政山ハイキング	4月上旬	・SLフェスタ	11月中旬
・駅からハイキング	4月上旬	・大産業祭	11月23日
・花と緑の市	5月上旬	・モオカの休日	随時
・いちご祭り	5月中旬	・各商店会イベント	随時
・バス誘客いちご狩り	5月下旬		
・中村夏祭り	7月上旬		
・久下田祇園祭	7月中旬		
・真岡の夏祭り（花火）	7月下旬		
・高田山専修寺夜祭	8月1日～2日		
・どろんこバレー	8月上旬		
・灯ろう流し	8月15日		
・真岡木綿おどり	8月下旬		
・尊徳夏祭り（花火）	8月下旬		